

■ 兵庫県保険医協会 北阪神支部 文化企画 ■

吟行会

小林一三の愛した茶室で “右脳俳句”

日 時 2月23日 (日) 午前 10 時 30 分～

会 場 小林一三記念館 (大阪府池田市建石町7- 17)

邸宅レストラン「雅俗山荘」(12 時～昼食会場、フレンチ)

参加費 8000 円 (昼食代・記念館入場料込)

※先着15名 2月 14 日までにお申込ください

俳句を詠まれた経験はありますか？

芭蕉の発明した「発句」は正岡子規によって「俳句」となり今や世界の「H a i k u」となってきました。俳句を詠むことで日頃は意識していなかった周囲を観察し、言葉にすることで脳の活性化にも繋がり、ひいては認知症予防にもなるといわれています。

今回は、阪急電鉄の創始者であり、茶道や俳句を愛した小林一三の旧邸を改装した記念館で俳句を詠み、レストラン「雅俗山荘」でフレンチを楽しんだ後は、茶室「人我亭」で句会を行います。岡本クリニック (宝塚市) 院長の岡本純子先生 (俳号 品川純胡。俳句結社「雲雀 (ひばり)」主宰) と一緒に俳句のたしなみ方・魅力に触れてみませんか。

初めての方もお気軽にご参加ください。



アクセス…阪急池田駅から徒歩 15 分、または阪急バス「大広寺」バス停下車徒歩 2 分

【FAX 078-393-1802】

北阪神支部文化企画「吟行会」に () 人参加します。

地区 () 医療機関名 ()

ご氏名 ()

TEL () FAX ()

お問い合わせは 078-393-1817 有本まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2020年1月25日号 No.301

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/



窮鼠猫を囓む 2020 年

北阪神支部長 中井 通治

みなさま、明けましておめでとうございます。旧年中はいろいろお世話になり、心より御礼申し上げます。

今年は鼠 (子) の年です。「袋の鼠」とか「窮鼠猫を囓む」といったことわざがあります。前者はどうすることもできない苦境に追い詰められた状況を言います。国債を発行しすぎて首が回らなくなっている日本政府のようですね。後者は弱いものでも切羽詰ると強いものに勝つことができるという意味です。日本も国連の常任理事国に立候補するほどの心意気を示してほしいものです。

ともかく「子の年」は十二支のトップバッターであり、今までの見直しをして、新たに決定をする年です。

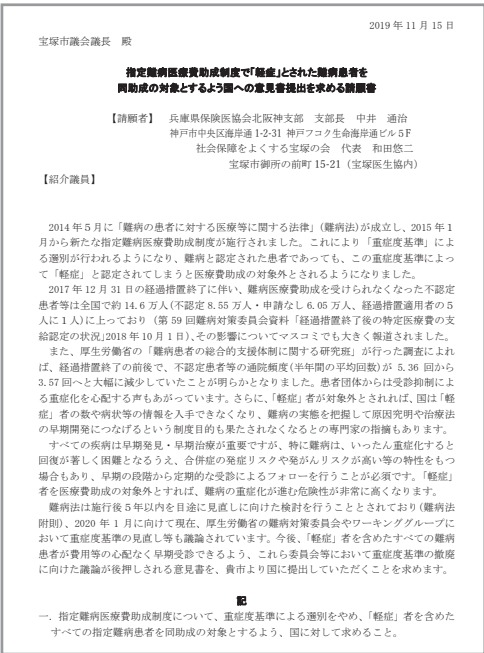
2020 年は節目の年です。オリンピックがあり、ロボットがわれわれのお世話をしてくれたり、AI がすべての検査の精度を高め、遺伝子レベルの治療薬が出現するでしょう。年配の者と若者が手を取り合って、乗り切らねばならない時代になったのです。

日本人は、水や空気がふんだんにある青い地球の、縦に長い火山列島に住んでいます。地震が多く、原発に適しませんが、多くの温泉が楽しめる島です。夜空に満月がかかる美しい国です。料理もおいしく景色もきれい。この国に生まれたことを喜ばねばなりません。

最後に、何でも話せる北阪神支部の活動にぜひご参加下さい。



すべての難病患者を医療費助成の対象に 議会請願 2 市 1 町議会で採択



全国で約 14.6 万人に上る不認定患者がいることを受け、支部では各議会へ前述の請願書を提出し、「軽症」患者を含むすべての難病患者を助成の対象とするよう国への意見書提出を求めた。

宝塚で採択も意見書は出されず

宝塚市議会は、11 月 27 日の文教生活常任委員会で請願を審議した(紹介議員：梶川みさお・大島淡紅子<社会民主党>、たぶち静子<日本共産党>)。委員会では口頭陳述の場が設けられ、中井支部長から請願書の採択を求めた(事務局が代読)。請願について委員からは、「重症化を防ぐために医療費助成が重要だ」などの意見が出され、「医療費が増える」などとして、たからづか真政会、令和安全・維新の会の委員が反対に回ったが、賛成多数で採択された。また、12 月 19 日の本会議でも請願は採択されたが、全会一致での賛成を得られなかったため、国への意見書は提出されなかった。

川西市議会「重症化を防ぐため」と採択

川西市議会は、12 月 11 日の厚生文教常任委員会で請願を審議(紹介議員：松隈紀文<川西まほろば会>、吉岡健次<日本共産党>)。委員会では口頭陳述の場が設けられ、中井支部長から請願書の採択を求めた(事務局が代読)。

(次のページに続く)

北阪神支部は、北阪神地域 3 市 1 町(伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町)の各議会に、「指定難病医療費助成制度で『軽症』とされた難病患者を同助成の対象とするよう国への意見書提出を求める請願書」を提出し、2 市 1 町議会で採択され、1 市 1 町で国への意見書が提出された。

2014 年 5 月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)が成立し、2015 年 1 月から新たな指定難病医療費助成制度が施行され、「重症度基準」による選別が行われるようになった。これにより難病と認定された患者であっても、この重症度基準によって「軽症」と認定されれば医療費助成の対象外とされるようになり、厚生労働省の研究班の調査によると不認定患者等の通院頻度が減少していることが明らかになった。

(前のページより)

委員からは「市には健康寿命を延ばす町づくりの条例もある。福祉の向上は行政の役割」「費用の心配なく受診できることが重要」などの意見が出され、会派無所属議員 1 名の反対があったものの、賛成多数で採択された。また、25 日の本会議でも賛成多数で採択され、国へ意見書を提出した。

猪名川町は全会一致で採択

猪名川町議会は、12 月 11 日の生活建設常任委員会で請願を審議した(紹介議員：福井和夫<無所属>)。請願内容に異議は出ず全会一致で採択され、17 日の本会議でも全会一致で採択となり、国への意見書提出を決定した。

伊丹市議会は、12 月 16 日の文教福祉常任委員会で請願を審議した(紹介議員：上原秀樹<日本共産党>)。『『軽症』とされても定期的な通院が重要』『治療研究に必要なデータが蓄積されなくなる』との立場から、フォーラムいたみと日本共産党が賛成したが、新政会などの反対多数により否決された。23 日の本会議では、紹介議員が賛成討論を行ったが反対討論のないまま、反対多数で否決された。



幹事会だより

第 388 回 12 月 5 日(木)いたみホール 参加 5 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

12/5 現在 医科 354 人(75%)、歯科 201 人(61%)

◆情勢と医療運動対策

政府が後期高齢者の窓口負担原則 2 割化を検討していることについて、「受診抑制が起こる危険性がある」「2 割負担になれば在宅医療患者の負担はかなり大きくなる」など意見交換した。

◆当面の支部活動

文化企画「吟行会」

日 時 2 月 23 日(日)10 時 30 分～

会 場 小林一三記念館、邸宅レストラン「雅俗山荘」など

講 師 岡本 純子先生(宝塚市・岡本クリニック)

参加費 8,000 円(食事代、入館料込み)

定 員 15 人(2 月 14 日までにお申し込み下さい)

◆次回幹事会

2 月 6 日(木)14 時 30 分～ いたみホール

お問い合わせはTEL 078-393-1805 有本・小川まで